

大村の商業

イベントでにぎわうプラザおおむら前



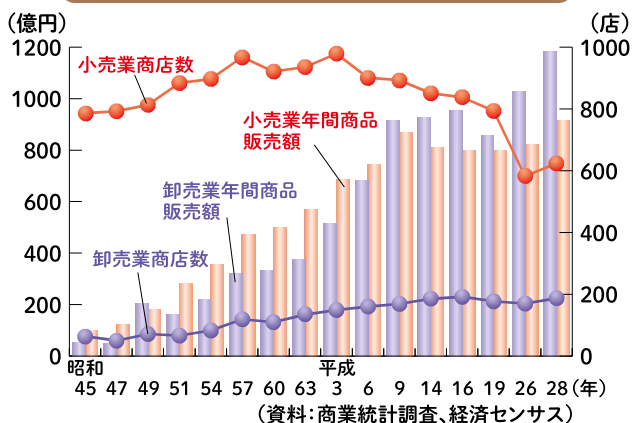
にぎわいの創出

本市の中心市街地は、古くは江戸時代から城下町や長崎街道の宿場町としてにぎわい、これまで商業集積が進み地域の拠点として発展してきました。しかし近年、郊外型商業施設の進出や消費者ニーズの多様化などにより、中心市街地の空洞化が進みつつありました。

この状況を打開するため、JＲ大村駅前の中心市街地で「上駅通り地区第一種市街地再開発事業」に取り組み、平成24年から25年にかけて分譲マンション、賃貸マンション、商業施設「コレモおおむら」が完成オープンしました。また、平成26年に多様な世代の交流拠点として「プラザおおむら」、平成31年に中心市街地複合ビル「プラットおおむら」、令和元年に長崎県立大村市立一体型図書館「ミライオン」がオープンしました。これらの事業により、中心市街地の居住人口が増加するとともに、親子連れを中心とした新たな人の流れが創出されました。

今後、整備されたそれぞれの拠点をつなぐソフト事業の展開により、さらなるにぎわい創出を目指します。

商店数と年間商品販売額の推移



コレモおおむら(東本町)